

キイトルーダ®と化学療法の
併用治療を受けられる患者さんへ

胆道がん

キイトルーダ®と化学療法併用 治療日誌

DIARY
&
MEMO

監修：地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター
消化器内科 部長 上野 誠 先生

はじめに

キイトルーダ®と化学療法の併用治療でよりよい効果を得るためには、安全性に留意しながら治療継続につなげることが大切です。

そのためには、起こる可能性のある副作用を正しく理解しておくことが、とても大切です。

加えて、あなたの体調を担当の医師や看護師、薬剤師をはじめとする治療チームに理解してもらうことも大切です。

あなたが普段の体調を把握するための「治療日記」と治療チームに伝えたいことや質問したいことを書き留めておく「治療メモ」を掲載していますので、よりよい治療のために、ぜひお役立てください。



キイトルーダ®と化学療法の併用治療について、疑問点やさらに詳しく知りたいことなどがありましたら、担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください。

目次

● がん細胞と薬物治療について	4
● キイトルーダ®と化学療法(ゲムシタビン及びシスプラチン) 併用治療開始前の確認事項	8
● 治療スケジュール	10
● 治療の注意点	12
● 体調がすぐれないと感じたとき	18
● 治療日記	20
● 治療メモ	38
● 連絡先メモ	43

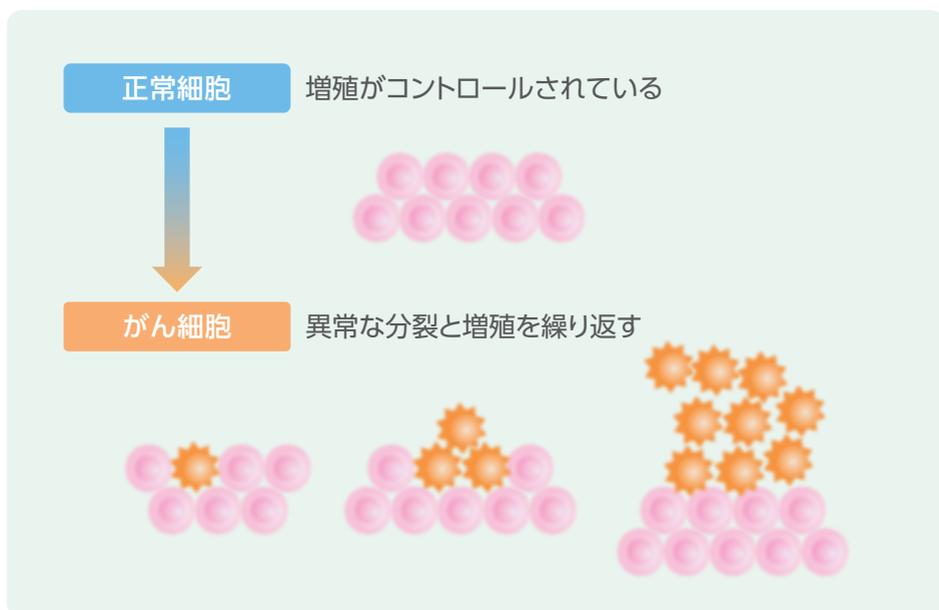


がん細胞と薬物治療について

● がん細胞の増殖について

正常な細胞は、際限なく増殖することがないようにコントロールされていますが、なんらかの原因によりその遺伝子に変化(遺伝子変異)が起これると、細胞は異常な分裂と増殖を繰り返すようになります。

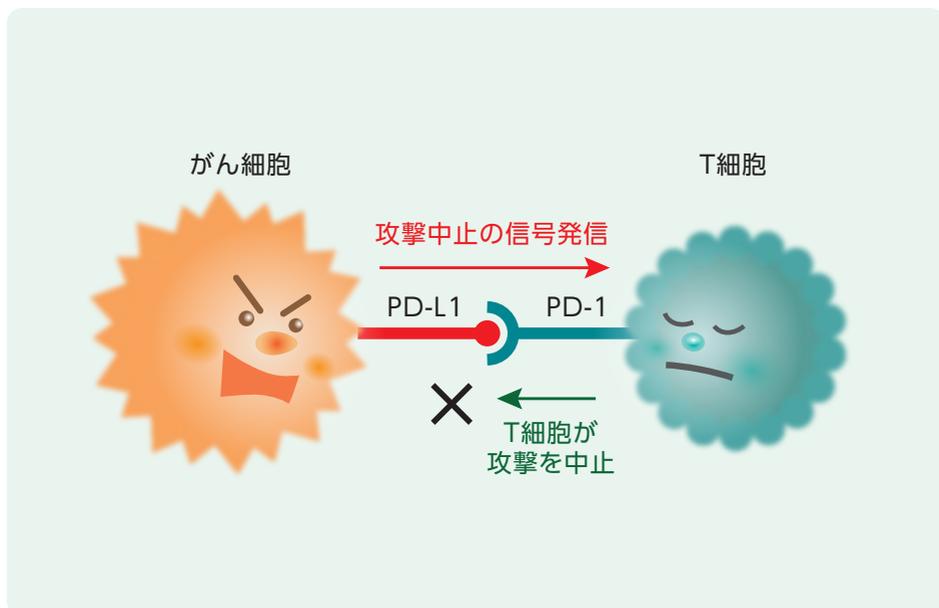
このような細胞をがん細胞といいます。



● がんが免疫機能にブレーキをかける仕組み

ウイルスや細菌などの異物に対する防御反応である免疫は、がん細胞に対してもはたらきかけます。最近、がん細胞は自身が増殖するために、免疫の一員であるT細胞に攻撃のブレーキをかける信号を送ることがわかってきました。つまり、がん細胞は免疫の機能にブレーキをかける仕組みを使って、T細胞の攻撃から逃れているのです。

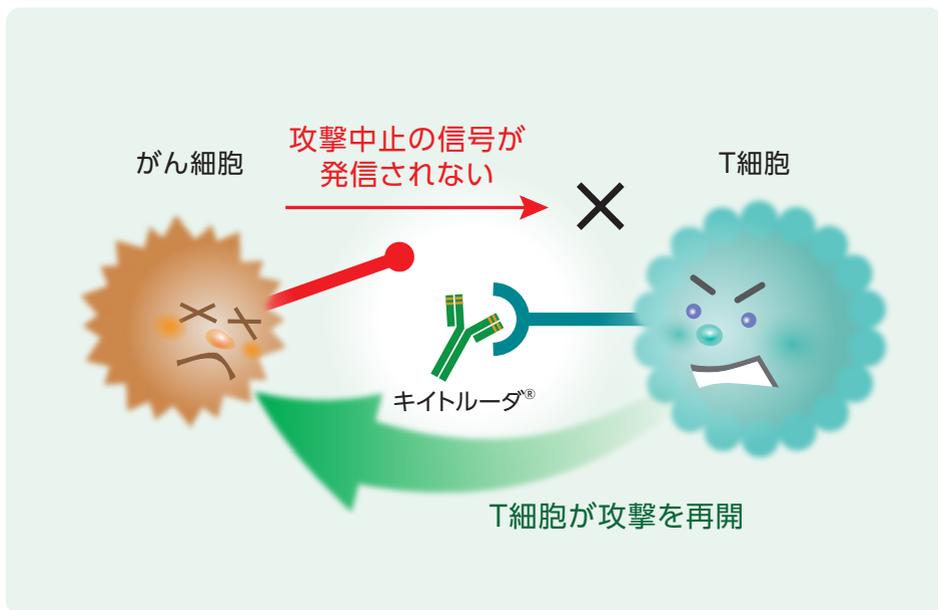
ブレーキをかける信号は、がん細胞表面にあるPD-L1^{ビーツーエルワン}というたんぱく質がT細胞表面のPD-1^{ビーツーワン}というたんぱく質と結合することにより発信されます。



がん細胞と薬物治療について

● キイトルーダ[®]について

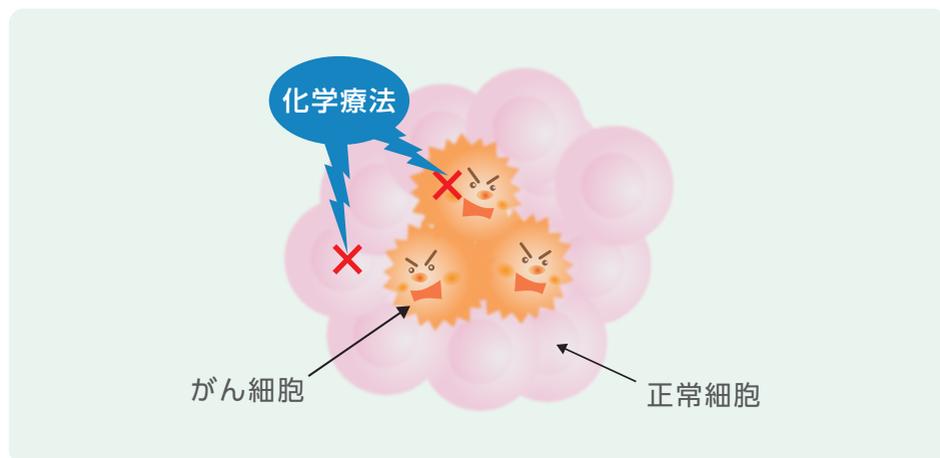
キイトルーダ[®]は「抗PD-1抗体」とよばれる免疫チェックポイント阻害薬で、T細胞のPD-1に結合することにより、がん細胞からT細胞に送られているブレーキをかける信号を遮断します。その結果、T細胞が活性化され、抗がん作用が発揮されると考えられています。



● 化学療法について

化学療法は、活発に分裂しているがん細胞の増殖を阻止することで、がん細胞を死滅させる治療です。

化学療法は、正常細胞も攻撃するため、副作用が起こることがあります。



● キイトルーダ[®]と併用する化学療法

シスプラチン

+

ゲムシタビン

シスプラチンやゲムシタビンは、がん細胞のDNAに入り込んだり、DNAと結合して、DNAが複製されるのを防ぎ、がん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりします。

キイトルーダ[®]と化学療法(ゲムシタビン及びシスプラチン)

● 治療を受けることができない可能性のある方

以下の項目に該当する方は、キイトルーダ[®]と化学療法の併用治療を受けられないことがあります。

- キイトルーダ[®]、化学療法(ゲムシタビンまたはシスプラチン)に含まれている成分に対して、過敏症症状を起こしたことがある方

【過敏症症状の例】

血圧の低下

意識障害

発疹

じんま疹

発熱



- 重い骨髄抑制のある方
- 重い感染症にかかっている方
- 重篤な腎障害のある方
- 間質性肺炎または肺線維症のある方
- 胸部への放射線療法を行っている方
- 妊婦または妊娠している可能性がある方*



* 胎児への影響や流産が起きる可能性があります。また、これから妊娠を希望される女性は、キイトルーダ[®]による治療中及び治療終了後4か月間は、避妊をする必要があります。

の併用治療開始前の確認事項

● キイトルーダ®と化学療法の併用治療を受ける前に

治療を始める前に、以下の項目に該当する方、授乳中の方は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

■ キイトルーダ®を使用する前の確認事項

- 自己免疫疾患*にかかっている、または過去にかかったことがある
- 間質性肺疾患**にかかっている、または過去にかかったことがある
- 臓器移植または造血幹細胞移植***をしたことがある
- 結核に感染している、または過去にかかったことがある
- 妊娠している、または妊娠している可能性がある

■ 化学療法(ゲムシタビン及びシスプラチン)を使用する前の確認事項

- 骨髄抑制がある
- 過去に間質性肺炎や肺線維症にかかったことがある
- 肝臓に障害(肝転移、肝炎、肝硬変など)がある、または過去に障害があった
- 過去にアルコール依存症があった、またはアルコール依存症である
- 腎臓に障害がある
- 過去に心筋梗塞になったことがある
- 聴器障害(耳が聞こえにくい、耳鳴など)がある
- 感染症にかかっている
- 水痘(みずぼうそう)にかかっている

* 本来自己には攻撃しないはずの免疫機能が、自分自身の身体や組織を攻撃してしまうことで生じる病態です。
例：膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎など)、クローン病、潰瘍性大腸炎、バセドウ病、橋本病、1型糖尿病など。

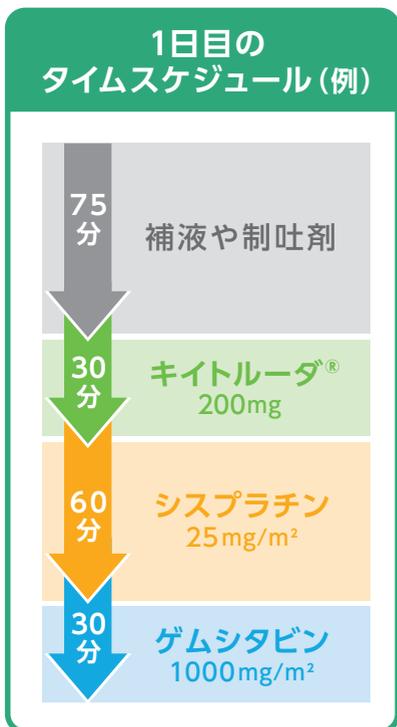
** 「キイトルーダ®治療ハンドブック」をご参照ください。

*** 病気になった造血幹細胞(赤血球、白血球、血小板をつくり出す細胞)を健康な造血幹細胞と入れ替え、正常な血液をつくることのできるようにする治療です。

キイトルーダ®と化学療法の併用治療スケジュール

● 投与スケジュール

- キイトルーダ® 200mgで治療を行う場合はします。
- キイトルーダ® 400mgで治療を行う場合は、
- 化学療法は1サイクル3週間として、各サイクル9サイクル以降は、キイトルーダ®とゲムシタ



キイトルーダ® +					
	1サイクル			2サイクル	
週	1	2	3	4	5
キイトルーダ®					
シスプラチン					
ゲムシタビン					



6週間間隔投与の場合には
投与しません

投与の順番や時間は、医療機関によって異なります。

- 点滴の前に副作用の予防のため前投薬をします。
- キイトルーダ®を約30分かけて静脈内へ点滴します。
- その後、シスプラチン、ゲムシタビン(またはゲムシタビン、シスプラチン)の順で投与します。
- 副作用が起きた場合など、患者さんの体調によっては、医師の判断で休んだり、量を変更することもあります。

医療機関によって異なる場合がありますので、主治医の指示に従ってください。

1サイクル3週間として、各サイクルの1日目に投与を開始し、2週目と3週目はお休み

6週間間隔でキイトルーダ®を投与します。

ルの1日目と8日目に投与し、3週目はお休みします。

ビンの投与を繰り返します。

1～8サイクル

シスプラチン + ゲムシタビン

9サイクル以降

キイトルーダ® + ゲムシタビン

3サイクル				4サイクル～ 8サイクルまで繰り返す			9サイクル			10サイクル～ 中止の理由があるまで繰り返す		
6	7	8	9	10	11	12	25	26	27	28	29	30
												
												
												



キイトルーダ®と化学療法の併用治療の注意点①

● 点滴中の注意点(点滴中に起こる可能性のある副作用)

点滴中や点滴直後にアレルギーのような症状があらわれる「点滴時の過敏症反応インフュージョン リアクション(infusion reaction)」が起こることがあります。

点滴中あるいは点滴後に下記のような症状があらわれた場合には、担当の医師または看護師、薬剤師に連絡してください。

- 皮膚のかゆみ
- 息苦しい
- じんま疹
- 胸がドキドキする
- 声がかすれる
- 意識がうすれる
- くしゃみが出る
- めまい・ふらつき
- 喉のかゆみ
- 血圧の低下

※点滴終了後、1～2時間後に症状があらわれる場合があるので注意してください。

キイトルーダ®と化学療法の併用治療では、
下記のような場合に注意が必要です。

● 治療を始める前

キイトルーダ®と化学療法の併用治療を始める前に、他の医療機関で治療を行っている疾患や服用している薬があれば、あらかじめ主治医に伝えておきましょう。

● 治療中、他の医療機関を受診する場合

治療を始めてから、他の医療機関を受診する場合には、あなたがキイトルーダ®と化学療法の併用治療を受けている主治医に相談しましょう。なお、相談し忘れてしまった場合でも、きちんと報告することが大切です。また、他の医療機関を受診したら、受診先の医療スタッフにもキイトルーダ®と化学療法の併用治療を受けていることを知らせてください。



● 治療中、いつもと違う症状に気づいた場合

治療中、副作用にいち早く気づき、対処することはとても大切です。いつもと違う症状に気づいたら、次の受診を待たずに、すぐに主治医にご相談ください。

キイトルーダ®連絡携帯カードを
財布などに入れて
常に持ち歩くといいでしょ。

キイトルーダ®による治療中
又は、治療経験のある患者さんへ

- ・他の医療機関や診療科を受診する時には、診察を受ける医師や看護師、薬剤師に必ずこのカードを見せてください。
- ・使用している薬があれば、すべての薬を医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

このカードは、常に持ち歩くようにしましょう。

こちらの患者さんはキイトルーダ®による
治療中又は、治療経験があります。

氏名	tel ()
医療機関名	tel ()
担当医師	科名
※治療期間	年 月 日 ~ 年 月 日
※投与期間	<input type="checkbox"/> 3週間間隔 <input type="checkbox"/> 6週間間隔

※このカードは患者さんにお渡しください。

キイトルーダ[®]と化学療法の併用治療の注意点②

キイトルーダ[®]は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び活性化させるため、免疫がはたらき過ぎることによる副作用があらわれる可能性があります。

症状のあらわれ方には個人差があり、発見が遅れると重症化することや継続的な治療が必要となる場合があります。あらかじめ副作用の種類や症状を知っておくことは、副作用の早期発見と対処につながります。

安心して治療を続けていくためにも、次に挙げるキイトルーダ[®]の注意すべき副作用と症状をしっかりと確認しておきましょう。

キイトルーダ[®]の特に注意すべき副作用

- 間質性肺疾患
- 大腸炎・小腸炎・重度の下痢
- 重度の皮膚障害
- 神経障害
 - ギラン・バレー症候群等
- 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
- 内分泌障害
 - 甲状腺機能障害
 - 下垂体機能障害
 - 副腎機能障害
- 1型糖尿病
- 腎機能障害
- 膵炎・膵外分泌機能不全
- 筋炎・横紋筋融解症
- 重症筋無力症
- 心筋炎
- 脳炎・髄膜炎・脊髄炎
- 重篤な血液障害
 - 免疫性血小板減少性紫斑病
 - 溶血性貧血
 - 赤芽球癆
 - 無顆粒球症
- 重度の胃炎
- ぶどう膜炎
- 血球貪食症候群
- 結核
- 点滴時の過敏症反応
インフュージョン リアクション
(infusion reaction)

キイトルーダ[®]の特に注意すべき副作用と症状については別冊の「キイトルーダ[®]治療ハンドブック」も確認しましょう。

● 化学療法の特に注意すべき副作用

キイトルーダ®による副作用の他に、化学療法を併用することにより、以下の副作用とそれに伴う症状があらわれる可能性があります。これらの副作用と症状もしっかりと確認しておきましょう。

化学療法(ゲムシタビン、シスプラチン)の 特に注意すべき副作用

- 腎機能障害
- 悪心・嘔吐
- 末梢神経障害・聴器障害
- 間質性肺炎
- 発熱

日本臨床腫瘍薬学会 監. 改訂第8版がん化学療法レジメンハンドブック, 2025. p677, p687

キイトルーダ®の併用治療の注意点

キイトルーダ®の副作用として予測される症状

頭痛 下垂体機能障害、脳炎・髄膜炎など

意識がうすれる 1型糖尿病、脳炎・髄膜炎など

見え方の異常 ぶどう膜炎

まぶたが重い・
顔の筋肉が動きにくくなる 重症筋無力症

口の中や喉が渴きやすい・
多飲 1型糖尿病

歯ぐきや口内の出血 免疫性血小板減少性紫斑病、
血球貪食症候群

くしゃみ 点滴時の過敏症反応

声のかすれ 甲状腺機能障害など

くちびるのただれ 重度の皮膚障害

咳 間質性肺疾患、心筋炎、結核

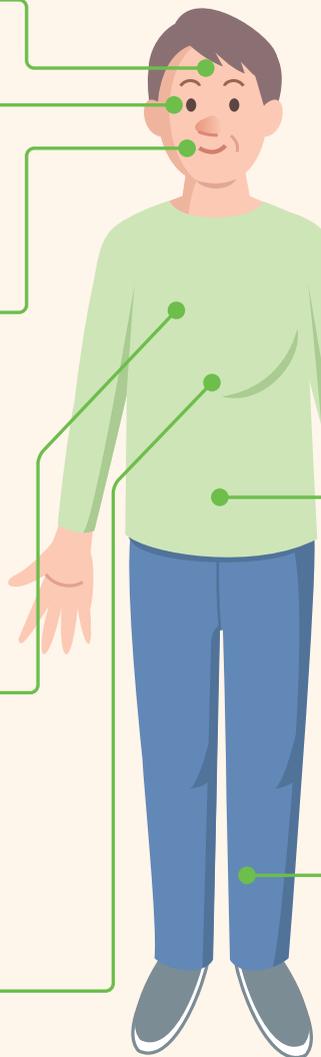
たん・血たん 結核

息切れ・
呼吸困難 間質性肺疾患、ギラン・バレー症候群、
重症筋無力症、点滴時の過敏症反応、
心筋炎、溶血性貧血、赤芽球瘻など

胸の痛み 心筋炎

吐き気や
おう吐 大腸炎・小腸炎、副腎機能障害、
脳炎・髄膜炎、1型糖尿病、重度の胃炎など

食欲不振 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、
下垂体機能障害、副腎機能障害、
重度の胃炎など



記載の症状やその他気になる体調の変化がある場合には、
ご自身で判断せず、
すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。



下痢	大腸炎・小腸炎など
ネバネバした便・血便	大腸炎・小腸炎
油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る	膵外分泌機能不全
便秘	甲状腺機能障害、副腎機能障害、脊髄炎
腹痛	大腸炎・小腸炎、膵炎、1型糖尿病、硬化性胆管炎
お腹が張る	膵外分泌機能不全など
トイレが近い	1型糖尿病
血尿	腎機能障害、免疫性血小板減少性紫斑病
尿量の減少・尿が出にくい	腎機能障害、脊髄炎

手足に力が入らない	ギラン・バレー症候群、筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症、脊髄炎
手指のふるえ	甲状腺機能障害など

全身

発熱	間質性肺疾患、大腸炎・小腸炎、腎機能障害、重度の皮膚障害、心筋炎、脳炎・髄膜炎、無顆粒球症、血球貪食症候群、結核など
疲れやすい・だるい	大腸炎・小腸炎、劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、副腎機能障害、結核など
黄疸	劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎、膵炎、溶血性貧血
発疹などの皮膚症状	点滴時の過敏症反応、重度の皮膚障害、免疫性血小板減少性紫斑病、硬化性胆管炎、血球貪食症候群など
体重の減少	副腎機能障害、1型糖尿病、結核など
体重の増加	甲状腺機能障害、腎機能障害
むくみ	甲状腺機能障害、腎機能障害、心筋炎
けいれん	脳炎・髄膜炎、血球貪食症候群
しびれ	ギラン・バレー症候群

体調がすぐれないと感じたとき

がんの治療中は、がんそのものの影響や、薬の副作用などによって、体の不調を感じることがあります。つらい症状に適切に対処することは、治療を続けるために大切なことです。下記に日常生活のポイントを紹介します。

● 吐き気や食欲がないとき

食事や水分がとれないと、脱水になりやすいので注意が必要です。

- ▶ こまめに水分をとるようにしましょう。
- ▶ 体力を落とさないためにも、食べられる物や好きな物から少しずつ食べるようにしましょう。
- ▶ 吐き気が強いときは、刺激やにおいの強いものを避けましょう。



● 疲れやだるさを感じる時

治療中には、薬の副作用以外にも、不安やストレスなどの影響によって、疲れやだるさを感じることもあります。

- ▶ 規則正しい生活を心がけ、活動と睡眠の時間をバランスよくとりましょう。
- ▶ 自分が楽しいと感じる運動や趣味等を適度に取り入れ気分の転換をはかってみてはどうでしょうか。
- ▶ 一日ゆっくり休むなど、体調に合わせて過ごしてみましょう。



● それでも体調が悪く感じるとき

強い疲れやだるさを感じるときは、無理をしないことと、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に相談することが大切です。

- ▶ 気になる症状がある場合には、必ず診察時に担当の医師や看護師、薬剤師に伝えるようにしましょう。
- ▶ 次の診察を待たず、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に相談するようにしましょう。



キイトルーダ[®]による治療で、特に注意すべき副作用と症状については「キイトルーダ[®]治療ハンドブック」でもう一度確認しておきましょう。



治療日記・記入例

- : この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性 (ゲムシタビン・シスプラチンで起こる副作用の)
- : この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可
- : この症状は、特にシスプラチンの副作用の可

1 ~ 3 週	日付(月/日)	第1週目						
		6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11
4 ~ 6 週	キイトルーダ®点滴	○						
	ゲムシタビン	○						
	シスプラチン	○						
	診察	○						
7 ~ 9 週	体温(°C)	36.5	36.8	37.0	37.2	36.9	36.7	36.7
	体重(kg)	57.0						
10 ~ 12 週	頭痛	○						
	意識がうすれる							
	鼻血							
13 ~ 15 週	あごの痛み							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
16 ~ 18 週	耳鳴り、耳が聴こえづらい							
	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							○
19 ~ 21 週	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
22 ~ 24 週	吐き気、悪心やおう吐							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	息をするとヒューヒューと音がする				○			○
25 ~ 27 週	食欲不振							
	腹痛			○				
	下痢							
28 ~ 30 週	ネバネバした便や血便							
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る							
	便秘							
31 ~ 33 週	お腹が張る							
	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	尿量が増える							
34 ~ 36 週	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	左腕の痛み							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
37 ~ 39 週	皮膚が黄色くなる(黄疸)							
	紫色のあざ							
	むくみ							
40 ~ 42 週	疲れやすい・だるい							
	動作が鈍くなる				○			
	けいれん							
43 ~ 45 週	しびれ							
	出血が止まりにくい							
	脈が速くなる							
そのほか気になる体調の変化	6/10 下痢ほどではないが、便が柔らかいような気がする。							
メモ								

体温はしっかり記録しましょう
毎日なるべく同じ時間に
はかるようにしましょう

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に

があります
 症状も含まれます)
 能性があります
 能性があります

無理に毎日書く必要はありません。
 負担にならないように記録しましょう

第2週目							第3週目						
6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25
○													
○													
○													
36.6	36.8	37.0	37.0	36.9	36.7	36.5	36.5	36.6	36.5	36.6	36.6	36.4	36.5
56.8							56.5						

体重は定期的にはかりましょう

気になる症状や疑問点などがあれば
 書いておきましょう

6/13 だるくて日中も横になっていることが多い。

6/25 手足にむくみがあり、寒気を感じる時がある。
 ○月○日に遠出をしたいので、先生に相談する。

ご相談ください。

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性があります(ゲムシタビン・シスプラチンで)
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性があります ■：この症状は、特にシス

日付(月/日)	第1週目						
	/	/	/	/	/	/	/
■ キイトルーダ®点滴							
■ ゲムシタビン							
■ シスプラチン							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭部	■ 頭痛						
	■ 意識がうすれる						
顔面	■ 鼻血						
	■ あごの痛み						
眼	■ 見え方の異常						
	■ まぶたが重い						
耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい						
口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい						
	■ 歯ぐきや口内の出血						
	■ 声のかすれ						
	■ 咳						
	■ たん、血たん						
胸部	■ 吐き気、悪心やおう吐						
	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
腹部	■ 息をするとヒューヒューと音がする						
	■ 食欲不振						
便	■ 腹痛						
	■ 下痢						
	■ ネバネバした便や血便						
	■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る						
尿	■ 便秘						
	■ お腹が張る						
手・足	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
	■ 尿量が増える						
皮膚	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ						
	■ 左腕の痛み						
全身	■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ						
	■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)						
	■ 紫色のあざ						
	■ むくみ						
そのほか気になる体調の変化	■ 疲れやすい・だるい						
	■ 動作が鈍くなる						
	■ けいれん						
	■ しびれ						
	■ 出血が止まりにくい						
■ 脈が速くなる							
メモ							

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性があります(ゲムシタビン・シスプラチンで)
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性があります ■：この症状は、特にシス

日付(月/日)	第4週目						
	/	/	/	/	/	/	/
■ キイトルーダ®点滴							
■ ゲムシタビン							
■ シスプラチン							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭部	■ 頭痛						
	■ 意識がうすれる						
顔面	■ 鼻血						
	■ あごの痛み						
眼	■ 見え方の異常						
	■ まぶたが重い						
耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい						
口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい						
	■ 歯ぐきや口内の出血						
	■ 声のかすれ						
	■ 咳						
	■ たん、血たん						
胸部	■ 吐き気、悪心やおう吐						
	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
腹部	■ 息をするとヒューヒューと音がする						
	■ 食欲不振						
便	■ 腹痛						
	■ 下痢						
	■ ネバネバした便や血便						
	■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る						
尿	■ 便秘						
	■ お腹が張る						
手・足	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
	■ 尿量が増える						
皮膚	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ						
	■ 左腕の痛み						
全身	■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ						
	■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)						
	■ 紫色のあざ						
	■ むくみ						
そのほか気になる体調の変化	■ 疲れやすい・だるい						
	■ 動作が鈍くなる						
	■ けいれん						
	■ しびれ						
	■ 出血が止まりにくい						
メモ							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性あります(ゲムシタビン・シスプラチンで)
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性あります ■：この症状は、特にシス

日付(月/日)	第7週目						
	/	/	/	/	/	/	/
■ キイトルーダ®点滴							
■ ゲムシタビン							
■ シスプラチン							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭部	■ 頭痛						
	■ 意識がうすれる						
顔面	■ 鼻血						
	■ あごの痛み						
眼	■ 見え方の異常						
	■ まぶたが重い						
耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい						
口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい						
	■ 歯ぐきや口内の出血						
	■ 声のかすれ						
	■ 咳						
	■ たん、血たん						
胸部	■ 吐き気、悪心やおう吐						
	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
	■ 息をするとヒューヒューと音がする						
腹部	■ 食欲不振						
	■ 腹痛						
便	■ 下痢						
	■ ネバネバした便や血便						
	■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る						
	■ 便秘						
尿	■ お腹が張る						
	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
	■ 尿量が増える						
手・足	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ						
	■ 左腕の痛み						
皮膚	■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ						
	■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)						
	■ 紫色のあざ						
全身	■ むくみ						
	■ 疲れやすい・だるい						
	■ 動作が鈍くなる						
	■ けいれん						
	■ しびれ						
	■ 出血が止まりにくい						
■ 脈が速くなる							
そのほか気になる体調の変化							
メモ							

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性があります(ゲムシタビン・シスプラチンで)
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性があります ■：この症状は、特にシス

日付(月/日)	第10週目						
	/	/	/	/	/	/	/
■ キイトルーダ®点滴							
■ ゲムシタビン							
■ シスプラチン							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
1 ~ 3 週	頭部	■ 頭痛					
		■ 意識がうすれる					
4 ~ 6 週	顔面	■ 鼻血					
		■ あごの痛み					
7 ~ 9 週	眼	■ 見え方の異常					
		■ まぶたが重い					
10 ~ 12 週	耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい					
	口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい					
		■ 歯ぐきや口内の出血					
		■ 声のかすれ					
		■ 咳					
		■ たん、血たん					
胸部	■ 吐き気、悪心やおう吐						
	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
13 ~ 15 週	腹部	■ 息をするとヒューヒューと音がする					
		■ 食欲不振					
16 ~ 18 週	便	■ 腹痛					
		■ 下痢					
		■ ネバネバした便や血便					
		■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る					
尿	■ 便秘						
	■ お腹が張る						
手・足	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
	■ 尿量が増える						
19 ~ 21 週	皮膚	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ					
		■ 左腕の痛み					
		■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ					
22 ~ 24 週	全身	■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)					
		■ 紫色のあざ					
		■ むくみ					
		■ 疲れやすい・だるい					
		■ 動作が鈍くなる					
		■ けいれん					
■ しびれ							
■ 出血が止まりにくい							
■ 脈が速くなる							
そのほか気になる体調の変化							
メモ							

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性あります(ゲムシタビン・シスプラチンで
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性あります ■：この症状は、特にシス

日付(月/日)	第13週目						
	/	/	/	/	/	/	/
■ キイトルーダ®点滴							
■ ゲムシタビン							
■ シスプラチン							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭部	■ 頭痛						
	■ 意識がうすれる						
顔面	■ 鼻血						
	■ あごの痛み						
眼	■ 見え方の異常						
	■ まぶたが重い						
耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい						
口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい						
	■ 歯ぐきや口内の出血						
	■ 声のかすれ						
	■ 咳						
	■ たん、血たん						
胸部	■ 吐き気、悪心やおう吐						
	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
腹部	■ 息をするとヒューヒューと音がする						
	■ 食欲不振						
便	■ 腹痛						
	■ 下痢						
	■ ネバネバした便や血便						
	■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る						
	■ 便秘						
尿	■ お腹が張る						
	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
手・足	■ 尿量が増える						
	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ						
皮膚	■ 左腕の痛み						
	■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ						
	■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)						
全身	■ 紫色のあざ						
	■ むくみ						
	■ 疲れやすい・だるい						
	■ 動作が鈍くなる						
	■ けいれん						
	■ しびれ						
そのほか気になる体調の変化	■ 出血が止まりにくい						
	■ 脈が速くなる						
メモ							

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性あります(ゲムシタビン・シスプラチンで
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性あります ■：この症状は、特にシス

	日付(月/日)	第16週目						
		/	/	/	/	/	/	/
1 ~ 3週	■ キイトルーダ®点滴							
	■ ゲムシタビン							
	■ シスプラチン							
	診察							
4 ~ 6週	体温(°C)							
	体重(kg)							
7 ~ 9週	頭部	■ 頭痛						
		■ 意識がうすれる						
	顔面	■ 鼻血						
		■ あごの痛み						
	眼	■ 見え方の異常						
		■ まぶたが重い						
	耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい						
10 ~ 12週	口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい						
		■ 歯ぐきや口内の出血						
		■ 声のかすれ						
		■ 咳						
		■ たん、血たん						
		■ 吐き気、悪心やおう吐						
	胸部	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
		■ 息をするとヒューヒューと音がする						
13 ~ 15週	腹部	■ 食欲不振						
		■ 腹痛						
	便	■ 下痢						
		■ ネバネバした便や血便						
		■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る						
		■ 便秘						
		■ お腹が張る						
16 ~ 18週	尿	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
		■ 尿量が増える						
	手・足	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ						
		■ 左腕の痛み						
19 ~ 21週	皮膚	■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ						
		■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)						
		■ 紫色のあざ						
	全身	■ むくみ						
		■ 疲れやすい・だるい						
		■ 動作が鈍くなる						
		■ けいれん						
		■ しびれ						
		■ 出血が止まりにくい						
		■ 脈が速くなる						
22 ~ 24週	そのほか気になる体調の変化							
	メモ							

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性あります(ゲムシタビン・シスプラチンで
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性あります ■：この症状は、特にシス

日付(月/日)	第19週目						
	/	/	/	/	/	/	/
1 ~ 3週	■ キイトルーダ®点滴						
	■ ゲムシタビン						
	■ シスプラチン						
	診察						
4 ~ 6週	体温(°C)						
	体重(kg)						
7 ~ 9週	頭部	■ 頭痛					
		■ 意識がうすれる					
	顔面	■ 鼻血					
		■ あごの痛み					
	眼	■ 見え方の異常					
		■ まぶたが重い					
	耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい					
10 ~ 12週	口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい					
		■ 歯ぐきや口内の出血					
		■ 声のかすれ					
		■ 咳					
		■ たん、血たん					
		■ 吐き気、悪心やおう吐					
	胸部	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み					
		■ 息をするとヒューヒューと音がする					
13 ~ 15週	腹部	■ 食欲不振					
		■ 腹痛					
	便	■ 下痢					
		■ ネバネバした便や血便					
		■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る					
		■ 便秘					
		■ お腹が張る					
16 ~ 18週	尿	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿					
		■ 尿量が増える					
	手・足	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ					
		■ 左腕の痛み					
19 ~ 21週	皮膚	■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ					
		■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)					
		■ 紫色のあざ					
	全身	■ むくみ					
		■ 疲れやすい・だるい					
		■ 動作が鈍くなる					
		■ けいれん					
		■ しびれ					
		■ 出血が止まりにくい					
		■ 脈が速くなる					
22 ~ 24週	そのほか気になる体調の変化						
	メモ						

■：この症状は、キイトルーダ®の副作用の可能性あります(ゲムシタビン・シスプラチンで)
 ■：この症状は、特にゲムシタビンの副作用の可能性あります ■：この症状は、特にシス

日付(月/日)	第22週目						
	/	/	/	/	/	/	/
■ キイトルーダ®点滴							
■ ゲムシタビン							
■ シスプラチン							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭部	■ 頭痛						
	■ 意識がうすれる						
顔面	■ 鼻血						
	■ あごの痛み						
眼	■ 見え方の異常						
	■ まぶたが重い						
耳	■ 耳鳴り、耳が聴こえづらい						
口や喉	■ 口の中や喉が渇きやすい						
	■ 歯ぐきや口内の出血						
	■ 声のかすれ						
	■ 咳						
	■ たん、血たん						
胸部	■ 吐き気、悪心やおう吐						
	■ 息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
	■ 息をするとヒューヒューと音がする						
腹部	■ 食欲不振						
	■ 腹痛						
便	■ 下痢						
	■ ネバネバした便や血便						
	■ 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る						
	■ 便秘						
尿	■ お腹が張る						
	■ 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
	■ 尿量が増える						
手・足	■ 手足に力が入らない、手指のふるえ						
	■ 左腕の痛み						
皮膚	■ 発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ						
	■ 皮膚が黄色くなる(黄疸)						
	■ 紫色のあざ						
全身	■ むくみ						
	■ 疲れやすい・だるい						
	■ 動作が鈍くなる						
	■ けいれん						
	■ しびれ						
	■ 出血が止まりにくい						
■ 脈が速くなる							
そのほか気になる体調の変化							
メモ							

治療メモ

次回受診時に医師や看護師、薬剤師に質問したいことや伝えたいことをメモしておきましょう。

記入例

1・2・3週

5月21日(日)～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

5月21日

吐き気が辛くて、食欲がありません。どうしたら食べられるようになりますか？

その後の経過

無理をしないようにしたら気分が楽になり、少しずつ食べられるようになってきました。

医療者からのアドバイスメモ

- ・つらいときは無理せず、好きなものを好きなときに少しずつ食べる
- ・こまめに水分をとる



1・2・3週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

4・5・6週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

治療メモ

7・8・9週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

10・11・12週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

13・14・15週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

16・17・18週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

19・20・21週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

22・23・24週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....
.....
.....
.....

医療者からのアドバイスメモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

その後の経過

.....
.....
.....
.....

連絡先メモ

● 医療機関名

.....

● 電話番号

.....

● 担当医師名

.....

● 緊急連絡先

.....

● 治療期間

年 月 日 ~ 年 月 日

DIARY & MEMO

Webサイトでもキイトルーダ[®]の情報がご覧になれます。

キイトルーダ[®].jp <https://www.keytruda.jp/>



キイトルーダ[®]による治療を受けられる患者さんとご家族のための情報サイト

主なコンテンツ

- キイトルーダ[®]について
- キイトルーダ[®]の治療の前に
- キイトルーダ[®]の治療スケジュールについて
- キイトルーダ[®]の特に注意すべき副作用
- キイトルーダ[®]治療解説動画



治療解説動画は、こちらのQRコードからご視聴いただけます。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

パソコンからは、

キイトルーダ

で検索し、ご視聴ください。

